

にゅう ぜん まち
入善町

議会だより

No.86号

平成5年11月29日

発行 入善町議会

編集/入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255
TEL 0765 (72) 1100
FAX 0765 (74) 0067



初議会において、正・副議長選挙を行う（11月5日）

新議会スタート!!

新しい議会組織きまる (12~13頁)



水キラキラ 町いきいき 入善

9月定例議会

ひばり野小学校体育館建設費などに

3億5千552万円を追加

一般会計総額・99億2,689万円

九月定例会は、七日から十六日までの十日間の会期で開催され、議案四件、請願四件、議員提出議案二件、同意案二件、諮問一件について審議した。

※平成五年度一般会計補正予算 (第二号)

三億五千五十九万二千円を追加し、予算総額を九十九億二千六百八十九万九千円とした。
今回の補正は、ひばり野小学校体育館建設一億一千八百二十五万九千円、幹線道路改良舗装九千四百八十四万九千円のほか、
★水の小径整備事業費
三千七百九十五万七千円
★アサヒビール飲料工場用地取得造成費
一千九百六十二万三千円などがある。

※平成五年度国民健康保険特別会計補正予算 (第一号)

九十八万四千円を追加し、予算総額を十六億四千七百八十五万四千円とした。
※平成五年度分譲宅地特別会計補正予算 (第一号)
四千五百五十万円を追加し、

予算総額を一億一千七百一十一万円とした。

※町職員の給与に関する条例の一部改正

課長職以上に参事職を設け、複雑多様化する行政業務の的確な判断と指示、そして主要な業務の連絡調整等に対応するため、九級制を導入した。

議員提出議案

※児童福祉法に基づいた保育制度の拡充を求める意見書

わが国の人口の高齢化、核家族化の進行とともに、地方公共団体の社会福祉サービス提供の責務は益々増大している。しかしながら保育措置費の地方公共団体負担は国庫負担率の軽減により、地方自治体の財源圧迫の一因となっていることから国の予算を増額されるよう要望するものである。

内閣総理大臣 細川 護熙
他三関係大臣
※農業農村整備事業の促進に関する意見書

農道整備事業、農村基盤総合整備事業など農業農村整備事業の予算枠の拡大に努めるとともに、事業の推進にあたっては、農家負担の軽減についても配慮するよう強く要望するものである。

内閣総理大臣 細川 護熙
他三関係大臣

人事

※情報公開審査会委員の任命

九月三十日に任期満了となる
岩田充弘、尾山一則、長谷川一郎、東狐和、安原睦子氏の後任に、次の者を選任することに同意した。
小杉九四三 杉田 高好

請願の結果

★町出先機関の休日変更請願書 (継続審査)
★小選挙区制、「政党助成」導入に反対する意見書 (不採択)
★小選挙区制の導入に反対する

意見書採択についての請願書 (不採択)
★児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書採択についての請願書 (採択)

東狐六二〇 高見 京子
吉原三六五 車 正利
新屋一四一 盛田 親義
吉原三八八七の二 上島 賢一

※教育委員会委員の任命

九月三十日任期満了となる前田郁子氏の後任に、次の者を選任することに同意した。
横山七八五の六 佐藤久美子

※人権擁護委員の推薦

吉澤親敬氏は、七月三十一日で辞任、鍋嶋磯松、水野周亮氏は十一月十四日に任期満了となるので、後任の委員候補者として、次の者を法務大臣に推薦することに同意した。
入膳三五八四の二五 鍋嶋 磯松 (再)
吉原三九五一の八 奥田 淳爾 (新)
下飯野一六三 志摩 明雄 (新)

4 議員が町政を問う……

日本海関東首都圏
連絡道の基本構想を問う

岡島 松次郎 議員（自民）

問 日本海関東首都圏連絡道路の今までの進捗状況と今後の見通しを質す。

**関係市町と力を合わせ
実現に努力**

町長 北陸と首都圏間の物資の交流は年々増加の傾向にある。

現在、県から首都圏へは信越東海經由の二つのルートがあり、いずれも6時間程度の時間が必要で、特に冬期間は積雪などで通行不能になることもあって、最短距離で結ぶ道路は極めて有意義であると理解している。

首都圏を結ぶルートとして、朝日インターから長野県白馬村までの20キロをトンネルで結び、大町經由で中央高速道に乗り入れ首都圏まで約三時間余りで行くことが可能になる。

朝日ルート、立山ルート、上市ルートの三案があり、どう調整するかが課題で、町は朝日ルートが経済的にも、時間短縮の面でも最善だと考える。

平成四年四月に新川地域の県会議員、首長、議長などで、建設構想推進会議を設立し、運動を展開している。

国道八号線の整備は

問 国道八号線黒部バイパスの用地買収促進と、今後の見通しはどうか。

用地測量を行い

一部用地買収を行う

町長

現在の八号線は、車の増加などに伴って、特に渋滞している。渋滞を早く解決するためにバイパス事業に国もルート発表し、取り組んでおり、平成二年度に入善町上野から黒部市中新の間七・八詩について事業化の方向を打ち出している。

平成四年度に飯野地内の路線測量を完了した。

今年度は黒部川から県道高山上飯野線間の事業計画を地元で説明し、了解が得られれば用地測量を行い、一部用地買収に取

りかかる。

着工順位の見通しは

問 新黒部大橋の着工について、道路が先か橋が優先か、建設省との打合せは現地点でどのようになっているか。

橋の早期着工陳情

町長

建設省では新黒部大橋景観設計懇談会を発足させ、地域の人々に親しみや愛着の持てる、やさしさ、美しさと、文化性との調和のとれた橋の建設に向けて、基本設計が実施されている。町でも早期着工のため強力な陳情活動を行っている。

呉西より遅い

道路整備

問

呉西よりも呉東が、特に道路関係が遅れていると言われているが、新川広域圏、市、町との連絡と当局の見通しを尋ねる。

県に強く要望する

町長

湾岸道路は県の総合計画の中に残念ながら黒部市から朝日町まで何ら載っていない。我々関係の市町にも努力が足りなかったと反省しているが地元選出の関係の議員の皆さんのなお一層の協力を期待したい。



▲国道8号線バイパスの建設予定地
(飯野地内)

下水道基本構想 建設時の条件は

本田 幸光 議員 (自民)

ほど維持管理費や建設時の条件等が厳しいと思うが、どうか。

散居村の特性考慮

最少の経費で

最大の効果を

町長

下水道の重要性は十分理解しており、県の下水道課と相談をし、下水道マップの作成や基本構想の策定等は実施している。

処理場については、入善町全体の下水を一箇所にあつめる集中方式よりも、農村部は散居村の特性を考慮し、農林水産省や厚生省補助の農業集落排水事業や合併処理方式で行なう方向で、最少の経費で最大の効果を上げる下水道事業を目指したい。

策定委託料の対応は

町長

平成五年度に基本計画策定委託料九百万円が計上されているが、対応はどのようにしているか。

処理区域を見直し

都市計画課長

当初計画では、計画面積三百七十ha、処理人数一万二千人であったが、計画区域の見直し拡大により委託費に不足が生ずるため、補正をするか、二カ年事

業とするか県の指導を受けながら対応していきたい。

終末処理場の位置は

町長

公共下水道の終末処理場の位置はどの辺りを考えているか。また、それに伴う周辺の土地利用計画はどのように考えているのか。

海岸線が妥当

町長

本町は扇状地の特性上、百分の一の勾配があり、河川の水量も豊富で自然流化が可能である。下水道計画にこの地形的な有利さを活用すべきと考え、自然流化を基本とした場合、処理区域の下流になる海岸線が妥当と考えられる。湾岸道路や防災林計画との調整を図り、候補地を検討していきたい。

また、八号線から下で特別養護老人ホームの建設構想もあり、総合的判断をしながら周辺の整備計画を早急に作成すべきと考えている。

技術者や職員の数

増員は

町長

公共下水道や農村下水道に取りかかる場合、計画や町民に対するPR等、早急に対応すべきと思うがどうか。

また、これに伴う技術者や事務職員の増員の考えはあるか。

下水道課を設置

町長

近い将来、下水道課を設置し対応したい。技術者は農林や建設関係にいるが、即対応は無理であり、県の下水道課の指導やあるいは下水道公団へ事業の委

託も含め検討していきたい。今後、下水道整備、管理技術者を順次計画的に養成し、将来は町独自で管理する体制を整えていくべきと考えている。

都市計画課長

PRについては、広報での一問一答形式やパンフレットの配布あるいは説明会等を開催していきたい。



▲下水道対策特別委員会で計画を協議
(平成5年9月)

金権腐敗の一掃 疑惑防止の対策は

九里 郁子 議員（共産）

問

金権腐敗の一掃、清潔な政治は国民の最大の願いだである。町として公共事業に関しての腐敗、疑惑防止の対策は。

国は来年度から条件付一般競争入札を実施するということが、町も同様の制度に改める考えはあるか。

企業・団体献金が腐敗政治の根源であると考えるが、直ちに禁止することについての考えは。

情報公開

指名・入札結果公表

町長

政治腐敗防止の関係では、清潔公正な町政執行はガラス張りで行わなければならないと考え、情報公開条例の制定や対話の町政ということ、町長と語る会などをやってきている。

入札制度について、一般競争入札は大手ゼネコンばかりが落ち、地元の中業者の育成が図られないというマイナスの面もあるのではないかと。

建設省からの通知では10億円以上は指定するランクの建設業者全員に入札参加の機会を与えるようにということだが、本町において10億円以上の仕事は極めて少なく、入札業者の審査に時間がかかるということ、直ちに全般的に適用するのは極めて難しい。町としては入札の透明性を図ることから、指名業者、入札結果の公表をしていく。

固定資産評価

使用形態に応じた評価を

問

三年に一度の固定資産評価額にあたり、評価額を地価公示価格の七十割を目標としているが大増になる。使用形態に応じて評価する収益還元方式に改め、中小業者や住民の税の軽減、あるいは当面二百平方メートルまでの宅地を非課税にという住民の願いに答えていただきたい。

固定資産税は国保税などに連

動する性格を持っており、長引く不況、天候不順による農作物の悪影響等を考え、町民への適切な対応が必要かと思うが所見を聞う。

法改正必要

町単独では無理

町長

固定資産の課税は納税者の継続的な負担に照らし、従来より地価の実勢とは別に負担調整率によってなされ、地方自治体の安定的な収入を図ってきたものであり、全国的な公平の観点からも新しい評価、負担調整率によつて課税することがいいのではないかと。

法の改正がなければ、町だけで

で独自の形での課税はできない。住宅用地については、特例などが設けられており、評価が上がっても、直ちに実際の納税面での負担にならないと考えている。

仮称「保育サービス法」

国の責任放棄

問

国と地方に義務付けている保育所措置制度が崩され、児童福祉法の施設から切り離し、仮称保育サービス法の制定も検討され、金がなければ保育が受けられなくなるのではないかと不安がある。

国の責任放棄とも言える考え方について、所見と対応を聞う。

児童福祉の原点

地方転嫁に反対

町長

保育所は児童福祉の原点であると考え、保育に積極的な力を入れていく。

保育措置費から人件費相当をカットし地方に負担転嫁するという国の方針については、町村会などを通じ断固反対の立場で運動を展開してきている。

国の方針に唯従うということではなく、常に意見を申し上げ、運動を展開することが大切であると考えている。

障害児保育

一貫した担当者を

問

障害児保育に積極的に取り組まれ、子を持つ家族に大変喜ばれている。

障害児保育は、その子を熟知した保育者が保育所を修了するまで一貫して担当することが、発達のためには重要だと考えるが基本的な考え方を聞う。

子供たちを理解

順次担当制へ

町長

障害児とのふれあい、その子の特性を理解して保育するということからすれば特定の保育者が対応するのが理想的だと思う。



▲町発注工事の入札（役場内）



▲深刻な少子社会
疾病の早期発見・予防が大切

しかし、保母が固定されるといふ問題もあり、子供たちを理解しながら順次担当するシステムをつくりながらやっていきたい。

乳幼児医療費助成

三歳未満まで拡大を

問

全ての子供を心身ともに健康に生み育てることは児童憲章にもうたわれている社会的責務である。

高齢化社会到来の一方で、深刻な少子社会になり、この背景には働きながら安心して子供を生み育てることができ環境が不十分なことにある。

公的医療費助成の現行、一歳未満対象を町独自で、三歳未満

児までに拡大する考えがあるか。

二歳までの拡大

担当課に指示

町長

乳幼児の医療費助成を三歳未満児まで対象にすると相当な町の財政負担になり、二歳未満児までということでは前向きに検討しており、担当課にも指示している。

医療費委任払い

制度の実施を

問

国保患者が医療費を支払った場合、六万三千円を超えた分は二、三カ月後に払い戻される高額療養費支給制度があるが、一

旦払い込まなければならず、患者にとって負担である。

医療費を無料で貸し付ける制度もあるが、医療費委任払い制度の実施に向けて努力する考えはあるか。

全県的には無理

限定して検討

町長

高額療養費の委任払い制度は理想的であるとは理解するが、保険の適用は全県的であり、事実上は不可能である。

黒部市民病院、朝日総合病院など限定しての委任払いは十分検討していかねばならないと思っている。

米輸入自由化阻止

入善町宣言を

問

冷夏被害に名を借りて米輸入自由化を図ろうとする動きがあるが、政府の米自給政策の失敗を農家に背負わせることは絶対に許されない。

米輸入自由化阻止入善町宣言運動を展開する考えがあるか。

また、主食用米優先の集荷を徹底するとともに、多用途利用米は本来の主旨に従い、品質基準通達主旨の徹底、サンプルを農協の窓口に掲示することについて、農協を指導していただきたい。



▲倒伏した水稲・早期共済問題解決を

実質的には

宣言は無意味

町長

国民の主食確保という点からは、備蓄米の確保が必要であると考えます。

自由化阻止については役場前に立て看板、垂れ幕を下げ、機会あるごとに町の基本的な輸入自由化阻止ということを申し上げており、宣言は実質的な意味がないのではないかと。

集荷については主食用米に力を入れていくのが当然だと思つて、多用途利用米の品質基準、サンプルの問題については、農協とも連絡をとっているが、指導をしていきたい。

実効性ある

農業共済適用を

問

水稲共済の適用を実行性のあるものにするための改善を政府に働きかけるとともに、被害実態を正確に調査し、実情にあった指数把握を行なうよう申し入れを行なうことや、米以外の作物についても被害調査を実施し生産意欲につながるような救済対策を講じていただきたい。

共済問題解決

政府に働きかける

町長

水稲共済の問題解決については政府、関係機関に働きかけていきたい。

指数の把握は農水省でやっているが、調査、集計に時間がかかり実態とかけ離れたものになっているが、納得できる指数の把握は必要だと思つている。

五十五年体制崩壊

中央陳情の対応は

広瀬 喜代志 議員（自民）

問

従来中央への陳情は自民党安定政権のもと、与党政調調査会を中心とした族議員構造のシステムの中で、陳情が行われてきたと考えている。自民党支配による五十五年体制が崩壊した今日、町政執行上、どのような考えをもって陳情に当たるか、その対応について尋ねる。

状況を見極め対応

町長

地方自治体が関係当局に対して請願、陳情をするということは、行政執行上大切なことと考

えている。

従来予算編成時には、農林水産省や建設省などに陳情客で満杯という状況であったが、建設省からは、大挙して押しかけるような陳情はやめてほしいと通知があったと聞いている。今後どのような陳情形態になるか、状況を見極め対応したい。

政界に対しては、与野党を問わずどの政党にも、あるいは国会議員にも陳情していく方法がよいのではないか。いずれにしても行き過ぎのないよう節度ある陳情を行って参りたい。

公共事業の推進

情報の収集必要

問

今まで論議されて来た新幹線問題、新黒部大橋、土地改良関係、湾岸道路、八号線バイパスなど、新政権の誕生にともなって微妙な影響があると考える。

公共事業を推進するため、国県土木事業促進協議会の設立に関する負担金が予算計上されているが、町政発展のための基本原則を忘れてはならないし、有効適切な予算執行を期待する。今後ますます情報の収集、分析が必要となってくると思いますが、その対応を尋ねる。

関係機関と

協議会設置

町長

ご指摘のとおり、国、県の事

業推進のため、関係機関の皆さんとの意見交換、あるいは必要に応じて懇親を深めるとか、情報の収集のため協議会を設置したい。その経費として百万円を予算計上したものであり、効果の上がるような取り組みを致したい。節度のある予算執行は、当然のことと考えている。

頭の活性化を図るためには、若者の定着が必須条件である。今若者が郷里へのUターンを希望しても働く場所がないと言われるが、これは頭脳型産業の不足が最大の原因と聞いている。町においても、各種大学との提携、誘致を行い、施設の貸与など支援をする一方、研究所や研究者に対しても、企業との提

頭脳型研究者の

育成策は

問

頭の活性化を図るためには、若者の定着が必須条件である。今若者が郷里へのUターンを希望しても働く場所がないと言われるが、これは頭脳型産業の不足が最大の原因と聞いている。町においても、各種大学との提携、誘致を行い、施設の貸与など支援をする一方、研究所や研究者に対しても、企業との提

携を考えていただくなど、充実を図るべきと考える。頭脳型研究者の育成策を問う。

広域的に役割分担を

町長

今日先端技術を導入した、電子部門、科学部門、あるいは医薬部門、品種改良などの研究所を誘致し、研究者の育成と、企業の参画を図ることは、地域の発展、活性化にとっても極めて大切なことと考えている。

これらの問題については、広域圏のなかで役割分担をするという形で対応すればどうかと考える。例えば本町には県東部で唯一の入善高校農業科があり、ことに農業を基幹産業とする町として、農業分野の研究を深めていただくのもよいのではないかと。今後これらのことも念頭に対処して行きたいと考える。



▲新黒部大橋の建設を陳情
着工がまたれる板屋・出島間

第三十回臨時議会 八月四日

※入善漁港改修工事第一工区

請負契約

・工事の場所
入善町芦崎地内

・契約の方法
指名競争入札による契約

・契約金額
八千三十四万円

・契約の相手方
入善町五十里二五〇

株式会社 飯作組
代表取締役 飯作 陸美

※入善漁港改修工事第二工区

請負契約について

・工事の場所
入善町芦崎地内

・契約の方法
指名競争入札による契約

・契約金額
六千六百七十四万四千円

・契約の相手方
六千六百七十四万四千円

・契約の相手方
入善町古黒部二四二八

廣川建設工業株式会社

代表取締役 高源 忍

※平成四年度歳入歳出決算認定および決算特別委員会設置

決算特別委員会委員

委員長 野坂 俊一

副委員長 田原 進

委員 佐藤 学英

委員 大林 政雄

昭男

石川 昭男

常任委員会

審査報告

総務常任委員会 9月10日

文教厚生常任委員会 9月10日

産業建設常任委員会 9月13日

一般会計補正 3億5059万2千円 景気浮揚に呼応

総務常任委員会
委員長 広瀬喜代志

など方向を誤らないように、慎重にして迅速、適切な基本方針を打ち出していきたい。

職員給与条例改正

町民にPRを

入善町の職員の給与に関する条例の一部改正についての議案は、本件を提案された時期の問題がある。町長、町議選を前にしての提案は、外にもくろみがあるのではないかとといった誤解をまねきやすい。

基本的には年度当初、あるいは給与体系見直しの時点において、職員の職務、職階の在り方を理路整然とした方針のもとに提出すべきものである。

当委員会に付託された案件は議案二件、請願三件である。議案の一般会計補正予算は、三億五千五百九十九万二千円で、歳入の特徴は国の景気浮揚策に呼応した、ひばり野小学校建設事業、幹線道路整備事業によるものである。

歳出では土地利用計画策定委託料五十万円があり、時宜を得た措置とは思われるが、下水道計画のエリアを考えると、調査費の額は、おさなりの感もぬぐえない。

町民の関心の高い終末処理場周辺整備や特養老人ホーム建設

出先機関休日変更 運用面で打開を

理美容組合からの町出先機関の休日変更の請願について、図書館の休館は県下のほとんどが月曜休館で、町がこれを変更することはネットワークによるコンピュータ検索を進める上から困難な問題もある。

また、集会所、運動施設は福祉会館や社会体育館が利用できるが、その他の施設の利用については協議がなされており、運用面での打開を期待することとし、継続審査とした。

政党助成導入に反対する意見書、小選挙区制の導入に反対する意見書等の請願については、国政の場で、政治改革にむかって論議が重ねられている段階であり、国政に注目するということから不採択とした。

国保会計補正 全会一致で可決

文教厚生常任委員会
委員長 九里郁子



▲コンピュータ検索のネットワーク化を導入（町立図書館）

当委員会の審議案件は、一般会計補正予算歳出のうち民生費、衛生費、教育費及び国民健康保険特別会計補正予算の議案二件、児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書採択の請願一件である。

慎重審議の結果議案二件は全会一致可決すべきものと、請願は賛成多数で採択すべきものと決した。

一般会計歳出のうち、民生費では百三十万円を以って、「白アリ駆除」を委託するが、保育所に限らず町にはたくさん施設があり、日常の点検を含め維持管理には細心の注意を払っていただきたい。

資源回収報奨金制度 導入を評価

衛生費では、近年生活様式が変化し、増大するごみ問題に対応するための措置が講じられ、

また、地球規模での環境破壊が進む今日、省資源・省エネルギー、あるいは資源リサイクルに町民参加の運動が展開されている。クリーン入善7129作戦では徹底した省資源、リサイクル化や減量化を進めるため、集団資源回収報奨金制度の導入があり成果を上げ、今回百四十万円の計上がある。この取り組みを評価するとともに、より一層町民参加の運動が展開されることを望むものである。

ひばりの小学校建設

1億1826万円を補正

教育費では、ひばり野小学校建設が二カ年継続事業で着工され、今回一億千八百二十六万円が計上されている。これは平成五年度の事業割合が、校舎建設は四十割が五十割に、体育館が新たに四十割追加変更されたものであり、景気浮揚策の観点か



▲順調に進む校舎建設
(ひばり野小学校)

からも当局の努力を評価する。暖かい、ぬくもりのある学校づくりに更に努力していただきたい。国保特別会計補正予算九十八万四千円は、国県等支出金精算による返納金であり、特に意見はない。

保育制度の拡充を求める請願については、基本的な問題として国から地方への負担転嫁は断固として反対していかねばならないということや、政府が保育の多様化ニーズに応えるとして打ち出している一時的保育延長保育等の施策の費用は全て補助事業によるため、現在の保育所最低基準に示されている職員配置では、その実施は到底困難であるということから意見書を出すことにしたものである。

フラワーセンター 全体の見直しを

産業建設常任委員会
委員長 田原 進

今議会の当委員会付託案件は、一般会計補正予算の歳出のうち

労働費、農林水産業費、商工費土木費及び分譲宅地特別会計補正予算の議案二件である。

一般会計補正予算の付託部分は二億一千五百七十七万である。

農業費ではフラワーセンターの植栽温室修繕工事百六十五万円があるが、昭和五十一年九月の竣工以来一七年が経過し、今までトイレの設置等、施設の充実が図られてきている。しかしながら観賞用温室や施設が手狭となり、施設全体の見直しを図る等の検討が必要でないか。

農地費では農村基盤総合整備事業があり、農村地域における農業生産性向上のため、農道や用排水路の整備、雪対策の整備などに二千六百六十九万円の追加がある。農村の健全な発展を期するため、総合的、計画的な取り組みを望みたい。

大規模林道

朝日・大山線着工
受益者負担は協議を

林業費では大規模林道朝日・大山線が着工の運びとなり、朝日町において起工式が行なわれる。この事業は朝日・魚津区間三十四・九キロ、事業費百五十六億四千四百万円をかけ、平成二十三年までの計画となっている。事業費負担は国県で九五割、残り五割は受益者負担と



▲施設全体の見直しが必要
(フラワーセンター)

なっているが、地元負担の在り方など検討すべき問題もあると考えられることから、関係機関と十二分に協議されるよう要望する。

町幹線道路改良舗装

1億3360万6千円を追加

商工費では、北陸アサヒビール飲料製造北陸工場の工場用地取得造成費千九百六十二万三千円がある。平成六年二月の操業を目指し、鋭意工場建設が進められているが、地域に根ざした企業となるよう、また町活性化に寄与するよう発展を期待するものである。

土木費では、国道八号線の整備促進事業事務費があり、入善警察署から明文堂書店までの五

百以上の用地買収の促進を図るものであるが、工事の早期着工、整備に向けた取り組みを期待したい。また、新たに国県土木事業促進協議会が設置されるが、新黒部大橋の建設や国道八号バイパスの建設、現道拡幅の整備あるいは湾岸道路の整備促進に努力されたい。

町道の幹線道路改良舗装に一億三千三百六十六万六千円の追加があるが、重要な社会基盤である道路整備については、必要性、優先度を考慮しながら鋭意進めたい。

分譲宅地特別会計補正予算は土地売り払い収入を公債費の償還に充てるものであり、特に意見はなく、二議案は全会一致で可決すべきものと決した。

決算特別委員会

審査報告

委員長 野坂俊一

一般会計ほか

5 特別会計を認定

平成四年度入善町歳入歳出決算について、本町の財政推移は一般会計及び五特別会計決算額は歳入百六十一億三百十万円、歳出百五十四億八千四百円で、前年度に比較して歳入は二十・六割、歳出は二十一・九割の増額となっている。

慎重に審査をした結果、一般会計及び国保特別会計ほか4特別会計については議会の議決の趣旨に沿った適正な執行と認め、全会一致で認定することに決した。

町税滞納件数、金額

共に減少を評価

一般会計では、歳入総額は百四十四億三千二百三十二万円で、主なものは町税二十九億二千九百八十六万円、地方交付税二十七億九千二百八十八万円、町債十九億三千七百二十万円である。町税の徴収率は九十九・七二

割で、前年に比べ〇・〇三割上昇し、滞納は件数、金額とも減少したことに対し、関係者の努力を評価する。

歳出総額は、予算現額百十二億九千六十四万円に対し支出総額百九億九千六百七十三万円で、執行率は九十七・四割である。

信頼される

税務行政確立を

総務費では、平成四年十月に完全週休二日制が導入され、時宜になつたものと評価するが、住民サービスの低下を来さないように努めるとともに、行政事務の簡素効率化、全庁的時間管理に対する意識改革を進められるよう期待する。

町税は町収入の大宗を占めるものであるが、過誤納金として還付された税額は千四百四十五万円にもなる。看過できないのは、非課税法人に課税された固定資産税の還付金二百八十九万円で、昭和五十九年から課税し、他からの指摘によって気づき遅



▲手狭になってきた消防庁舎
移転改築の検討を要望

及して還付したもので、かかる課税は全くのミスで弁解の余地はない。課税の公平、信頼される税務行政確立のためにも、税務職員は関係法規の研修に努め、二度と過ちを繰り返すことのないよう強く要望する。

保育所統合

機能等の見直しを

民生費の老人福祉費では、急速な高齢化が進み、二十一世紀には超高齢化社会が到来すると言われている。

町においてはデイサービスやデイホーム、ショートステイ、地域交流ホームに対し総額四千二百二十六万円をもって舟見寿楽苑に委託されているが、高齢化

の進捗により将来ますます利用者が増加するものと思われる。運営に当たっては老人クラブ、婦人会、社会福祉協議会の会長等が役員に参加することにより、明朗公正な運営が期待されるものであり、一考されたい。

児童福祉費では、建築後二十四年が経過し、老朽化が著しかった東部保育所が改築されたが、町内には十四カ所の保育所があり、老朽化や0歳児、延長保育等の保育ニーズ、臨時職員の対応等など、職員や施設を含め、統合、運営、機能等の全体的な見直しが必要でないか。

ごみ減少対策を評価

衛生費では、ゴミの減量化に

向け空缶回収機二台が設置され、また、簡易焼却炉、コンポストの設置に助成が行なわれ、若干ではあるがゴミが減っている。適宜な措置と評価したい。

しかし、じん芥処理委託料、し尿処理委託料については、算定にあたっては十分調査されるところにも、積算には特に留意されたい。

一部の地区で検出された地下水汚染に対し、継続的な追跡調査を実施されているが、河川の汚染調査も含め、今後も公害対策に万全を期されるよう要望する。

農業振興効果見極め

養殖漁場の開拓を

農林水産業費では、農業振興に対し、各種事業に取り組み、関係団体の育成や施設、機械整備に多額の助成が行なわれている。これらの助成に対しては補助効果等を見極め、的確に対応されたい。

フラワーセンターは昭和五十一年に花苗の生産、緑化の啓蒙、花と緑の展示、園芸相談及び講習等を目的に整備され、今日に至っている。現在の施設、管理運営をみると、観賞用温室や植栽用温室を含め手狭となり、設置の趣旨にそぐわない面が見受けられ、地域活性化センター的位置付けと、業務委託等を含め



▲人口増対策として分譲宅地を造成
(横山地区内・まつかぜ団地)

抜本的な見直しを図られたい。
各土地改良区の統合に向けて
統合整備推進協議会が設置され
ているが、将来展望に立った土
地改良事業の推進のためにも十
分調査、念査され、一日も早い
統合を望みたい。
水産振興に対しアワビ等の稚
貝放流やヒラメ等の漁業に取り
が行なわれ、育てる漁業に取り
組まれているが、平成三年の関
西電力出し平ダムからの排砂の
影響により、定着性の強い魚類
や放流したアワビ等がほとんど
死滅し、養殖わかめ等の生育に
も大きな影響があったようであ
る。今後は養殖漁場の開拓も含
め、一層の努力をお願いしたい。

既存商店街の空洞化

市街地再開発を

商工費では、景気てこ入れと
して中小商工融資預託金が前年
度より二千五百万円増加されて
いる。商工振興対策として適切
な処置である。
土木費では、幹線道路網の整
備に多額の投資が行なわれてい
る。中央通り線が駅前から中町
線まで、二百坪の間において一
部本工事に着工されたが、既存
商店街の空洞化は深刻な問題に
なっていることから、駅前を中
心とした市街地再開発を含め全
力を挙げて取り組んでいただき
たい。

緊急出動を懸念

消防費では、消防職員の定数
は最近増員され、火災や救急に
対応しているが、職員の増員等
に伴い消防庁舎は手狭となつて
いる。また、庁舎前の道路整備
により、緊急出動が懸念される
ことから、移転改築を検討すべ
きでないか。

懸案の総合体育館

23億円余をかけ竣工

教育費では、懸案であった総
合体育館が二十三億一千五百万
円を以て竣工し、町民スポーツ
の殿堂として、また2000年
国体の会場として県下に誇るに
ふさわしい施設である。今後の
管理運営にあたっては、関係団
体と協議のうえ、適切に措置さ
れ、スポーツの振興に努められ
たい。なお、運営面において、
法人化された入善町体育協会に
事業の委託をすることも検討さ
れたい。

また、舟見・野中統合小学校
用地が買収されたが、両地区の
関係者、地権者の方々に感謝申
し上げるとともに、町において
は温もりのある学校建設に十分
意を尽くしていただきたい。
社会教育費では、成人式に出
席する新成人のモラルの低下が
問われている。従来からの行事
を踏襲したやり方でなく、式典

そのもの見直しを含め、成人
式の在り方について関係者と十
分協議、検討されたい。

国民健康保険特別会計

決算は、歳入総額十六億八千
六百五十八万円、歳出総額十五
億六千九百五十五万円、歳入歳出
引一億二千五百六十三万円を翌
年度へ繰り越して決算が終結し
た。

歳入の保険税は、調定額六億
四百九十七万円に対し、収入額
五億九千九百九十八万円、前
年度より千九百三十三万円の減
取であり、徴収率は九十九・一
八割で前年より〇・一二ポイント
下がっている。しかし、歳入
では国保事業の運営に積極的に
取り組んだ結果、前年度を一千
万円上回る特別調整交付金の交
付を受けており、評価したい。
歳出では、保険給付が十億七
千五百三十八万円で、前年度に
比べ四・三割の増である。

被保険者一人当たりの医療費
は三十六万九千八百三十二円で、
前年度に比べ七・三二割の上昇
であるが、平成二年度伸び率十
・四一、三年度伸び率六・五七
割の平均値に比べ低率となつて
いる。しかしながら、一人当た
りの医療費は県下でも高い方に
位置しており、著しい医療費の
増高に対処するため、今後も保
健婦活動の充実、健康調査、訪

問指導等を強力に推進されたい。

老人保健医療特別会計

決算は、歳入総額二十六億三
百四十一万円、歳出総額二十五
億四千九百四十三万円、歳入歳
出差引五千三百九十八万円を翌
年度へ繰り越して、決算が終結
した。

高齢化社会を反映して、老人
医療受給者数は三千五百五十五
人と、本町人口の十一・九割を
占め、前年度に比べ八十三人、
〇・三ポイント高齢化が進んで
いる。医療費総額は二十六億四
千六十五万円で、前年比六・八
割の増加となったが、前年の伸
び率を〇・九割下回っている。

また、一人当たりの医療費は
五・七割伸びの七十五万四千二
百五十四円となっている。ことか
ら国保と同様に医療費の上昇抑
制に努力していただきたい。

分譲宅地特別会計

決算は、歳入総額三億四千六
百五十五万円、歳出総額三億四千五
百七十九万円、歳入歳出差引二
十六万円を翌年度へ繰り越して
決算が終結した。持ち家志向の
高まる中で、人口の伸び悩み問
題等から、町の人口増対策のた
め横山地区での分譲宅地造成事
業の取り組みを評価するとともに
、全区画の完売について努力
されるよう要望する。

第1回臨時議会 11月5日

新議長に若島信行議員

副議長に五十里隆章議員

初議会で議長、副議長の選挙を行った後、3常任委員会の組織と、新たに設置する下水道対策、交通網対策の2特別委員会の委員を選任した。



議会議長
若島信行

去る十月十日に執行されました一般選挙後、初の議会におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任することになりました。誠に身に余る光栄であります。同時に職務の重要性を認識し、身の引き締まる思いしております。

もとより浅学非才であります。が、全力を傾注し大任を果たしたいと思っております。

今日の社会経済情勢は、高齢化、国際化、情報化などの進展、あるいは長期低迷が続く深刻な不況など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変化しつつある一方、果たすべき役割はますます



議会副議長
五十里隆章

このたびの組織議会におきまして、副議長の要職を担うことになりました。もとより

浅学非才な身であり、その職務の重要性を認識し、身の引き締まる思いを致しております。

議会運営の経験豊かな若島議長のもとで、町民の皆様方から寄せられた数多くの要望の実現と、二十一世紀に向けて、長寿社会に対応した社会資本の整備を進める一方、高学歴化社会における若者の雇用と定着、あるいは成熟化社会に対応した生涯学習、自然環境の保全など、「笑顔が水にうつる緑と文化のまち」創造のため精一杯の努力を致したいと考えております。今後とも町民各位のご指導とご支援をお願い申し上げます。就任のあいさつと致します。

重要なものとなって参りました。このような状況のなかで、活力と創造性に富んだ地域づくり、あるいは町民ニーズにどのように応えて行くか、的確な行政の運営と効果的な事業の選択が必要と考えるものであります。ことに幹線道路網の整備や農漁業の振興対策、商店街の活性化、下水道整備の問題など、財政的にも大きな負担の伴う事業ばかりであります。町政の発展のうえで避けて通れない課題であると認識しており、町民各位の一致したご理解とご支援がなければ実現できないものと考えております。

つねづね町当局と議会は車の両輪と言われますように、緊密な連携のもと、町政の円滑な運営を図ることは当然であります。同時に安易な妥協に陥ることとはあってはならないと考えております。

議会の本旨を常に念頭におきながら、時代の要請に応えることができまますよう、誠心誠意町政の進展に全力を傾注する覚悟であります。

今後一層、町民各位のご支援ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。議長就任のあいさつと致します。



▲新議員が初登庁 (11月5日)

○ 常任委員会委員 ○ 特別委員会委員

○ 広域圏議会議員 ○ 監査委員

総務
常任委員会

◎委員長 竹内 杜太 無所属 4期	◎委員長 石川 昭男 6期
○副委員長 岡島 功 自由民主党1期	◎委員長 西尾 政巳 自由民主党2期
・委員 田原 進 自由民主党2期	◎副委員長 東狐 和 無所属 1期
・委員 早川 誠一 3期	◎委員長 板川 清治 自由民主党4期
・委員 松沢 孝衛 4期	◎副委員長 佐藤 学英 4期
・委員 若島 信行 5期	◎委員長 九里 郁子 日本共産党5期
・委員 本田 幸光 6期	◎副委員長 池原金与志 自由民主党5期

文教厚生
常任委員会

産業建設
常任委員会

◎委員長 広瀬喜代志 自由民主党3期	◎委員長 石川 昭男
○副委員長 福沢 憲一 1期	◎副委員長 本多 幸男
・委員 本多 幸男 日本社会党3期	◎委員長 西尾 政巳
・委員 五十里隆章 自由民主党4期	◎副委員長 板川 清治
・委員 野坂 俊一 4期	◎委員長 竹内 壮太
・委員 大林 政雄 5期	◎副委員長 佐藤 学英

議会運営委員会
委員

◎委員長 石川 昭男	◎委員長 若島 信行
◎副委員長 本多 幸男	◎副委員長 池原 金与志
◎委員 西尾 政巳	◎委員 大林 政雄
◎委員 板川 清治	◎委員 若島 信行
◎委員 竹内 壮太	◎委員 池原 金与志
◎委員 佐藤 学英	◎委員 若島 信行

新川広域圏事務
組合議会議員
監査委員

◎委員長 石川 昭男	◎委員長 若島 信行
◎副委員長 本多 幸男	◎副委員長 池原 金与志
◎委員 西尾 政巳	◎委員 大林 政雄
◎委員 板川 清治	◎委員 若島 信行
◎委員 竹内 壮太	◎委員 池原 金与志
◎委員 佐藤 学英	◎委員 若島 信行

特別委員会

下水道対策
特別委員会

◎委員長 大林 政雄	◎委員長 池原 金与志
○副委員長 田原 進	○副委員長 早川 誠一
・委員 福沢 憲一	・委員 岡島 功
・委員 本多 幸男	・委員 東狐 和
・委員 板川 清治	・委員 松沢 孝衛
・委員 野坂 俊一	・委員 竹内 壮太
・委員 九里 郁子	・委員 佐藤 学英
・委員 本田 幸光	

交通網対策
特別委員会

◎委員長 池原 金与志	◎委員長 池原 金与志
○副委員長 早川 誠一	○副委員長 早川 誠一
・委員 岡島 功	・委員 岡島 功
・委員 東狐 和	・委員 東狐 和
・委員 松沢 孝衛	・委員 松沢 孝衛
・委員 竹内 壮太	・委員 竹内 壮太
・委員 佐藤 学英	・委員 佐藤 学英

12月議会

★傍聴についてお願い
十二月議会は八日から二十一日までの会期で開催されます。

★本会議の日程
8日 提案理由説明
13日 一般質問
14日 最終日
21日 討論、採決

★議会の傍聴者は、受付簿に住
所、氏名、年令を記入すると
ともに、次のことを守って
ください。
一、議場における言論に対し

- 一、拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと
- 二、談論、放歌、高笑、その他騒ぎ立てないこと
- 三、はち巻、たすきの類をする等、示威的行為をしないこと
- 四、帽子、外とう、襟巻の類を着用しないこと
- 五、飲食又は喫煙しないこと
- 六、みだりに席を離れて、不体裁な行為をしないこと
- 七、その他議場の秩序を乱し、又は議事の妨害となるような行為をしないこと
- 八、あらかじめ議長の許可を得た場合のほか、写真、映画を撮影し、又は録音しないこと
- 九、傍聴人はすべて係員の指示に従ってください

議会 日誌

(★印は町村議会議長会の職務)

八月 (はづき)

- 9日 黒部川治水同盟会総会
- 9日 決算特別委員会
- 10日
- 10日
- 11日
- ★ 北陸自動車道等富山県建設促進協議会総会 (富山市)
- ★ 15日 富山県戦没者追悼式 (富山市)
- 18日 水田富農活性化対策推進員会議
- 19日 決算特別委員会
- 20日
- 21日 合併40周年記念「黒部川シンポジウム」
- 22日
- 24日 交通網対策特別委員会
- 25日 新潟県青海町議会米町決算特別委員会
- 26日
- 27日
- 27日 新黒部川大橋建設促進期成同盟会総会
- 黒部朝日公園緑地改良促進期成同盟会総会
- 朝日宇奈月緑地改良促進期成同盟会総会

九月 (ながつき)

- ★ 30日 北陸新幹線建設促進同盟会総会 (東京)
- 30日 決算特別委員会行政視察 (石川県)
- 31日 宮城県河南町議会米町
- 1日 議会運営委員会
- ★ 2日 秋田県中仙町議会米町北信越町村議会議長会会議 (八尾町・富山市)
- 3日 富山県総合防災訓練 (高岡市)
- ★ 6日 町村議会議員研修会 (富山市)
- 6日 北電発電所竣工式
- 7日 議員全員協議会
- ★ 31日 第31回議会定例会 (提案理由説明)
- 8日 米澤紋三郎翁胸像除幕式
- 9日 議会定例会(一般質問・質疑・委員会付託)
- 10日 総務常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- ★ 10日 上市町町制四十周年記念式典 (上市町)
- 10日 新川地域推進協議会 (魚津市)
- 13日 産業建設常任委員会
- ★ 13日 黒部川治水同盟会理事
- 14日 下水道対策特別委員会
- 16日 議会定例会(各常任委員長審査報告・討論)

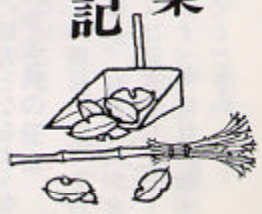
十月 (かんなづき)

- ★ 17日 採決) 東海北陸自動車道建設促進同盟会総会(東京)
- 19日 入善分団消防車入魂式
- 22日 小摺戸消防分団屯所竣工式
- 22日 東京入善会 (東京)
- 24日 下山芸術の森アートイベントテアプカット
- 26日 シルバー人材センター三周年記念
- 29日 入善町社会福祉大会
- 30日 新川地域推進協議会陳情 (富山市)
- 北陸新幹線工事実施計画認可説明会
- 姉妹都市使節団歓迎レセプションパーティ
- 1日 町合併四十周年記念式典
- 6日 北海道早米町議会米町大規模林道朝日・大山線安全祈願祭(朝日町)
- 7日 連合婦人会結成四十周年記念式典
- ★ 12日 中日本府県町村議会議長会議 (福井県)
- 13日 北陸新幹線糸魚川市・魚津市間建設工事起工式 (新潟県)
- ★ 20日 全国都道府県会長会議 (東京)
- 黒部川治水同盟会理事

十一月 (しもつき)

- 22日 入善町植樹祭
- 23日 秋季消防訓練
- 24日 第一回扇状地マラソン
- ★ 25日 県政要望陳情 (富山市)
- 26日 国営黒部川沿岸農業水利事業完工式 (宇奈月)
- ★ 28日 日本海国土軸推進大会 (東京)
- 5日 第一回議会臨時会
- 7日 関西入善会(大阪市)
- 8日 北海道俱知安町議会米町
- 10日 呉東地区町村議会議長会議
- 10日 朝日滑川間国道・バイパス建設促進陳情 (湯沢町)
- 11日 北陸国道協議会総決起大会 (新潟市)
- 11日 北陸国道協議会総決起大会 (新潟市)
- 12日 町村議会議長全国大会
- 12日 豪雪地帯町村議会議長全国大会
- 12日 北陸三県町村議会議長研修会 (東京)
- 15日 新川・大北直結道建設構想推進会議 (黒部市)
- 15日 愛知県春日町議会米町

編集 後記



★昭和五十九年秋から進められてきた「黒部川沿岸農業水利事業」が完工した。
この事業は黒部川両岸の農業用水の安定供給と維持、管理費の節減を図るとともに、農業経営の近代化、営農の合理化が進められる。
★今年の稲作は大変な不作。天候のせいもあるが、日本の米の生産力も落ちてきているのではない。本町の基幹産業の農業を守るため、農政当局に注文を付けた。在庫、米の生産力の実態把握の努力、転作の緩和の問題に真剣に取り組まれることを。
★町長選と同時に進められた町議会議員選挙。二人オーバリーの少数激戦。栄えある当選に酔うことなく、二十一世紀をめざし、入善町のさらなる発展と高度化する行政、複雑多様化する住民要請に応えるため全力を挙げて取り組むたい。(Y・H)

議会だより編集委員

石川 昭男 板川 清治
本多 幸男 竹内 壯太
西尾 政巳 佐藤 学英
広瀬喜代志